

実教出版「新しい観点と実践に基づく工業化教育法の研究」正誤表（第1刷用）

2020年7月時点

本書には下記のような誤りがありました。おわびして訂正いたします。

箇所	誤	正
p.10 7行目～	工業教科を通して物事を論理的に思考し、合理的に処理する能力を身につけさせることです。	工業科の学習活動などを通して物事を論理的に思考し、科学的な根拠に基づき合理的に処理する能力を身につけさせることです。
p.10 11行目～	工業技術の生産現場の体験(就業体験学習：インターンシップ)の場を与えることです。就業体験は、学校という限られた範囲から抜け出し、・・・	工業技術の生産現場の体験活動(就業体験活動：インターンシップ)の場を与えることです。就業体験活動は、学校という限られた範囲から抜け出し、・・・
p.11 20行目	ものづくりの基本的トレーニング	ものづくりの訓練
p.18 表1	就業体験学習	就業体験活動
p.19 14行目	工業高校-大学の教育課程概念図で示す	工業高校-大学の教育課程を対比図で示す
p.19 最終行	普通高校-大学 及び 工業高校-大学の概念図	普通高校-大学 及び 工業高校-大学の対比図
p.50 5行目	工業に関する科目	工業科に属する科目
p.50 表1 タイトル	表1 工業に関する科目	表1 工業科に属する科目
p.51 2行目～	2科目は、原則履修科目として指定され、各学科において原則としてすべての生徒に履修させる科目です。	2科目は、原則履修科目として位置づけている、工業に関する各学科において原則としてすべての生徒に履修させる科目です。
p.51 最終行	4-2-1項に示した資質・能力を・・・	4-2-2項に示した資質・能力を・・・
p.52 1行目	実施します。	指導します。
p.58 16行目	③ 3観点法による評価	③ 目標に準拠した評価
p.58 17行目	一般的な評価ポイントの項目として、・・・	一般的な「課題研究」の評価のポイントとして、・・・
p.64 下から 5行目 反応式	E _(NHE)	E _(SEC)
p.73 2行目	5-1 工業の各分野の基礎科目 ⁽¹⁾	5-1 工業の各分野に共通する〔指導項目〕で構成された科目 ⁽¹⁾
p.73 4行目	「工業の各分野における共通科目」	「工業の各分野に共通する科目」

箇所	誤	正		
p.73 7行目～	3科目は、各学科における共通的内容で、かつ基礎的・基本的な内容で構成された科目です。	3科目は、工業に関する各学科における共通的な指導項目で構成された科目です。		
p.73 9行目～	4科目は、各学科の特色や・・・選択して履修する基礎科目です。	4科目は、工業に関する各学科の特色や・・・選択して履修する科目です。		
p.73 11行目	ここでは、基礎的科目として大切な「実習」「製図」について・・・	ここでは、「実習」「製図」について・・・		
p.87 10行目	「製図」は、1年生の早い段階から入れることがのぞまれます。	「製図」は、1年生の早い段階から履修することがのぞまれます。		
p.94 2行目	資格取得は、先に述べた「学校設定科目」として扱うことができます。	削除		
p.105 14行目	さらに文部科学省の方針でカリキュラム・マネジメント ³⁾⁴⁾ を求められるようになります(p.112参照)。	さらにカリキュラム・マネジメント ³⁾⁴⁾ が必要になります(p.112参照)。		
p.109 7行目	① 共通科目(数学, 理科)と専門科目との関連を配慮する。	① 共通教科(数学, 理科)と専門教科との関連を配慮する。		
p.129 1行目	1 単元(題材)名(科目名, 教科書, 副教材等)	1 単元(題材)名		
p.129 7行目	及び数式を用いて理解できる。	及び数式を用いて理解する。		
p.129 3 単元(題材)の評価規準(正表のみ)	3.単元(題材)の評価規準			
	観点 評価	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	単元の 評価規準	力の働きについて数学的な考え方, 数式を理解しているとともに, 関連する技術を身に付けようとしている。	力を平面内に適切に表し, 力を合成・分解する方法や力の働き・つり合い・重心の考え方を理解している。	物体に働く力や力の合成・分解・つり合い・重心について学習する態度を身に付けようとしている。
	学習活動に 即した具体的 な評価 規準	力の合成・分解・つり合い・重心について, 数式を用いて理解しているとともに, 図示している。	力の合成・分解・つり合い・重心について, 原理と方法を関連付けて考え, 数式で表現している。	物体に働く力や力の合成・分解・つり合い・重心について身近な事例から学習する態度を身に付けようとしている。
		*1 高等学校学習指導要領解説「工業編」より		
		*2 p.135参照		
p.129 下から 12行目	力がつり合っているということを理解させる。	力がつり合っているということを理解できるよう工夫して指導する。		
p.129 下から 6行目	図示できることと数式を用いて理解できるようにする。	図示できることと数式を用いて理解できるように工夫して指導する。		

箇所	誤	正
p.129 最終行	静止しているときの力の状態について考えられる。	静止しているときの力の状態について考えられるよう工夫して指導する。
p.130 6 単元 (題材)の指導計画と評価計画 (26時間扱い)	(26時間扱い)	削除
p.130 6 単元 (題材)の指導計画と評価計画 1行2列目	ねらい	目標
p.130 6 単元 (題材)の指導計画と評価計画 1行3列目	学習内容・学習活動(導入・展開・まとめ)で記述する	主な学習内容・学習活動
p.130 6 単元 (題材)の指導計画と評価計画 1行4列目	具体的な評価規準(主となる評価方法)	具体的な評価規準
p.130 6 単元 (題材)の指導計画と評価計画 「第1時」の行	<知・技><思・判・表>押す, 引く, 斜めなどの力の働きを考え理解できる。	<知・技>押す, 引く, 斜めなどの力の働きを考え理解している。
p.130 6 単元 (題材)の指導計画と評価計画 「第3時」の行	<思・判・表><態>スパナでナットを・・・	<思・判・表>スパナでナットを・・・
p.131 6 単元 (題材)の指導計画と評価計画 「第4時」の行	<思・判・表>自転車のペダルを踏む力について考え表現できる。	<思・判・表>自転車のペダルを踏む力について考え表現している。
p.131 6 単元 (題材)の指導計画と評価計画「第5時(本時)」の行	<知・技><思・判・表>・・・理解できる。	<知・技><思・判・表>・・・理解している。

箇所	誤	正
p.131 6 単元 (題材)の指導計画と評価計画 「第6時」の行	<知・技><思・判・表><態>物体のつり合い条件と・・・表現できる。	<知・技><思・判・表>物体のつり合い条件と・・・表現している。
p.131 下から 8行目	(全6時間中の第5時間目)	削除
p.131 下から 7行目	(ねらい)	削除
p.131 下から 5行目・6行目	理解できる	理解する。
p.131 下から 4行目～	例題を通して、力のつり合いについて理解し、図示や数式を用いて表現できる。	例題を通して、力のつり合いについて理解するとともに、図示や式を用いて表現する。
p.132 1行4列目	<態>授業を受ける態度が・・・力の働きを考えられる。	削除
p.132 2行 4列目2項目目	<思・判・表>2力が同一作用線上にあるときの力の状態を考えられる。	削除
p.132 2行 4列目4項目目	<態>例題を通して力のつり合いを主体的に学ぶ態度ができる。	削除
p.132 (4) 4行目	・学習内容を理解させ、・・・	・学習内容を理解できるよう、・・・
p.132 最終行	1行追加	・協働的な学びはできたか。
p.134 1行目	第9章 教育評価	第9章 学習評価
p.136 表1右下	*高等学校学習指導要領解説「工業編」	*中央教育審議会答申第197号
p.136 下から 4行目	「8年研究」が教育評価 ⁽²⁾ を提唱・・・	「8年研究」が学習評価 ⁽²⁾ を提唱・・・
p.136 最終行	「教育評価」という概念が・・・	「学習評価」という概念が・・・
p.139 1行目	9-4-4 ルーブリック評価の工業教科における事例	9-4-4 ルーブリック評価の工業科における事例
p.142 下から 8行目	9-6 工業高校の教育と評価方法	9-6 工業教科と評価方法
p.142 下から 7行目	工業高校の教育におけるテストには、	工業教科におけるテストには、
p.142 下から 5行目	工業高校では、・・・	工業教科では、・・・

箇所	誤	正
p.142 最終行	学習=指導と一体化する 教育 評価・・・	学習=指導と一体化する 学習 評価・・・
p.143 8行目	学科として 反省 する材料にすることができます。	学科として 工夫や改善 する材料にすることができます。
p.143 12行目	そこでは、当然のこととして学習=指導を示していますが、・・・	そこでは、当然のこととして学習=指導と 評価の一体化 を示していますが、・・・
p.143 下から11行目	実習では、製作作品、 授業 態度などを3観点別評価、・・・	実習では、製作作品、 学びに向かう 態度などを3観点別評価、・・・
p.155 4行目	アクティブ・ラーニングの 視点 として 位置づけ られています。	アクティブ・ラーニングが 示 されています。
p.165 3 アクティブ・ラーニング実践編 5行目	評価 においても、このような学習を促進するような 評価 が行われなければなりません。	削除
p.225 1行目	工業高校の4タイプ例	工業 系 高校の4タイプ例
p.225 表5内	Cタイプ（総合学科校）	Cタイプ（総合学科校）*
p.225 最終行	1行追加	*Cタイプは、工業高校ではない。（総合学科）
p.226 1行目	次に工業高校の設置例を紹介します。	次に工業 系 高校の設置例を紹介します。
p.226 (1)	(1) 類型選択校例	(1) 類型選択校例（ 工業科 ）
p.226 (2)	(2) 総合技術校例	(2) 総合技術校例（ 工業科 ）
p.226 (3)	(3) 総合学科校例	(3) 総合学科校例（ 総合学科 ）
p.227 (4)	(4) 科学技術校例	(4) 科学技術校例（ 工業科 ）
p.230 7行目～	ものづくり産業の発展に寄与し 、第一線で活躍できる専門的職業人を育成する 事業に取り組んでいます 。産学官の連携を図り、・・・	社会の変化や産業の動向等に対応した、高度な知識・技能を身につけ 、 社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため、先進的な卓越した取り組みを行っています 。工業科の指定校では、産学官の連携を図り、・・・
p.231 5行目	⑦ 各小学科の目標を達成するための教育課程になっているか。	⑦ 各小学科の目標を達成するための教育課程の 編成 になっているか。
p.269 1行目	工業 教科 における科目の 標準単位数	工業 科 に属する科目の 一覧表
p.269 2行目 2・4列目	標準 単位	想定 単位数
p.269 表の左段 2行目 1列目	各学科において 共通 に履修させる科目	工業に関する各学科において 原則として全ての生徒 に履修させる科目

箇所	誤	正
p.269 表の左段 6行1列目	各学科において共通な基礎科目	工業に関する各学科における共通的な指導項目で構成された科目
p.269 表の左段 10行1列目	各学科において選択的な基礎科目	工業に関する各学科の特色や生徒の進路希望により選択して履修する科目
p.269 表の左段 15行1列目	工業分野に関する科目	工業の分野に関する科目
p.269 最終行	1行追加	想定単位数：高等学校学習指導要領解説「工業編」(平成30年告示)において履修させることを想定した単位数